

DV家庭の子どもたちと、加害者対策

～ノルウェーの現状と日本のこれから～


● 絵本『パパと怒り鬼—話してごらん、だれかに—』から見えてくること ●

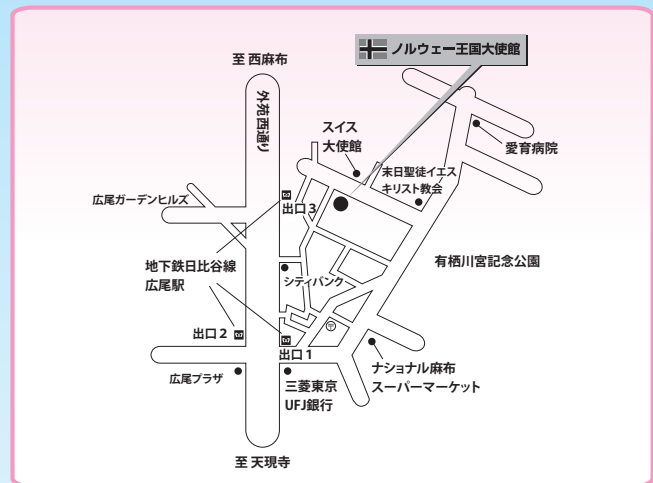
シンポジウム開催にあたって

近年、配偶者や恋人など、親しい間柄からのDVが大きな社会問題となっています。DVの被害に直接あうのは、そのほとんどが女性たちですが、その家庭の中で暴力を目撃し、時には自身も暴力を受けてきた子ども達の問題は長く見過ごされてきたように思います。2004年の児童虐待防止法の改正で、DVの目撃が心理的虐待にあるとされ、今、様々な団体が傷ついた子どもたちへの回復の手立てをはかろうと活動を始めています。しかし、DVの加害者である夫が子どもにとっては父親であるということは、とても子どもの心を複雑に傷つけており、そのDV加害者の更正に対する対策は、日本ではまだ立ち遅れているのが実状です。

このたび、DV問題をテーマにしたノルウェーの絵本の日本語版『パパと怒り鬼—話してごらん、だれかに—』の出版に際し、ノルウェーと日本の臨床の専門家を招き、被害者支援、及び加害者プログラムの現状と課題について話し合う場を設けます。

開催概要

- 日 時 2011年10月14日(金)
17:30 開場 18:00 開始
- 会 場 ノルウェー王国大使館 (地図参照)
- 主 催 ノルウェー王国大使館 
- 共 催 ボイの絵本出版プロジェクト
- 協 力 (株)ひさかたチャイルド
- 参加費 無料
- 定 員 80名。定員になり次第、締め切ります。
締め切り情報は、HP (<http://www.hisakata.co.jp/>)
にて、ご確認ください



※ 地下鉄日比谷線 広尾駅より徒歩5分

※ 駐車場はありませんので、車での来場は、ご遠慮ください。

プログラム概要

- ① ノルウェー王国大使館挨拶
- ② 絵本『パパと怒り鬼』内容紹介 —— 中田慶子 (NPO法人DV防止ながさき代表)
- ③ 講演 (通訳あり) —— オイヴィン・アスクイェム (精神看護師・家族セラピスト)
- ④ 講演 —— 信田さよ子 (原宿カウンセリングセンター所長)
- ⑤ 講演者質疑応答
- ⑥ レセプション (自由参加)

お申し込み・お問い合わせ

【お申し込み】 裏面の申込みフォームにご記入のうえ、FAX (03-3818-4970) へお申し込みください。後日、受付確認のお返事をFAXにてさせていただきます。

※ 定員に達している際も、その旨、お知らせさせていただきます。

【お問い合わせ】 (株)ひさかたチャイルド内、シンポジウム事務局 (担当: 林・佐藤)

TEL: 03-3813-7726